



陶芸館スタッフのご紹介！

今年1月から、雲南市でこしやな工房を営んでいる影山雄治さんが、陶芸館スタッフとして、体験指導を行っています。

影山さんは、桂窯（故）福間敏氏、かつら工房 福間英司氏に陶芸を教わり、方言の「こしやな（器用な）モノづくりを目指し、活動しています。

陶芸体験や絵付け体験では、はじめての方にも丁寧に指導しますので、ぜひ遊びに来てくださいね。



出雲石灯ろう その1 丸雪見灯ろう

伝統的工芸品「出雲石灯ろう」に指定された形は、全部で26種類あります。それぞれを不定期ですが、News Letterでご紹介していきます。第1回目は、「丸雪見灯ろう」です。

雪見灯ろうの本歌（見本となった灯ろう）は、京都の泉涌寺だと言われ、笠の上の雪が漁火のように見ることから「浮灯」、水辺に設置する

と水面に浮かんで見えることから「浮見」などが、

転じて「雪見」となったという説があります。他

産地の石材では難しかった丸い笠が、来待石では

作りやすかったため、大量生産が可能となり出

雲石灯ろうを代表する形になりました。

画像のように、正面に脚が1本くるよ

うに設置するのが一般的です。



モニュメント・ミュージアム

来待ストーン

MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE



〒699-0404

島根県松江市宍道町東来待 1574-1

休館日：毎週火曜日（祝日の場合翌平日）※ 陶芸体験・絵付け体験は土・日（要予約）

☎ 0852-66-9050

